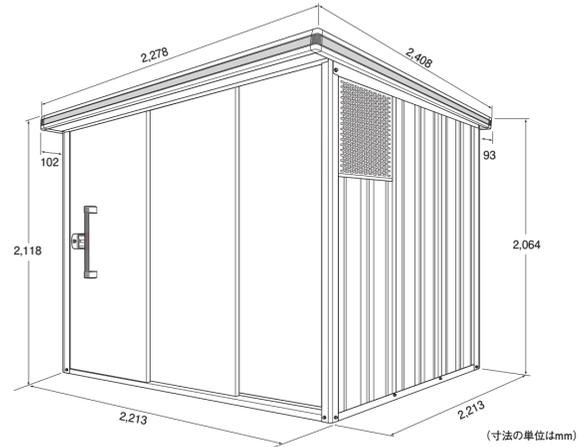


ヨド物置 エルモ ダストピットタイプ

組立説明書 LMD-2222DP型

このたびは「ヨド物置」をお買上げいただきまして、誠にありがとうございます。
組み立てる前に、この「組立説明書」をかならずお読みください。



(寸法の単位はmm)

●設置場所の制限

△注意

- 建物の屋上には設置しないでください。
- バルコニー等の避難通路にあたる場所には設置しないでください。
- 大屋根からの雨水や雪が、直接物置の屋根に落ちる場所には設置しないでください。
- 崖のふち・風当りの強い場所等安全の確認できない場所には設置しないでください。
- 給湯器の前には設置しないでください。

●組立施工の際には

△注意

- アンカー工事等の転倒防止工事を必ず行ってください。●組立の際には手袋を着用してください。
- 梱包・組立部材で重量物は運搬、据付の際に複数人で行ってください。
- 組立部材には長尺で重い物もありますので振り回したり落としたりしないように注意してください。
- 風の強い日・雨の日は、組立作業を避けてください。
- 高い足場が必要な時は、踏み台・脚立等安定した足場を使用してください。
- 組立後、各部のボルト・金具の締め忘れやゆるみがないか確認してください。

●梱包組み合わせ表

機 種	2222DP型	機 種	2222DP型
部 品	LM5-5143	屋根	LM5-0943
上枠前後(一般・積雪型)	LM5-0205	壁	LM5-1003
上枠前後(豪雪型)	LM5-0209	パンチングパネル	LM5-1004
下枠前後(豪雪型)	LM5-5254	窓下パネル	LM5-5012
上枠左右	LM5-0305	扉	LM5-1705
下枠左右	LM5-0355	袖壁	LM5-1055
柱	LM5-0416	一般型	16
間柱	LM5-1457	積雪型	16
鼻隠し	LM5-1105	豪雪型	16
一般型	LM5-0537	豪雪型	16
積雪型	LM5-3536		
補強	LM5-3536		
豪雪型	LO5-4533		

●梱包内容表

●部品	LM 5-5143	●上枠左右	LM 5-0305	●壁	LM 5-1003
部材名	数量	部材名	数量	部材名	数量
ELD 間柱固定金具	2	ELD 上枠左 A.3.0	1	ELD 壁パネル L-A	3
前巾 (2アルファワッシャー) M6×15	5 (1)	ELD 上枠右 A.3.0	1		
ELD 柱補強金具 (AS)	1			LM 5-1004	
ELD 下レールキャップ	1			部材名	数量
T型レンチ	1			ELD 壁パネル L-A	4
プラグボルト PB.#500	4			●袖壁	
壁パネル止結金具	5 (1)			LM 5-1055	
ELD 内アンカー金具 (A)	4			部材名	数量
ELD 内アンカー金具 (L)	4			ELD 袖壁 L-A	1
ELD 角孔フサギシール	4			●鼻隠し	
ボルト M6 × 15 (白)	197 (5)			LM 5-1105	
ELD 屋根脚隠し A	2			部材名	数量
ELD 屋根脚隠し B	1			ELD 柱前 AS-右 L	1
組立説明書	1			ELD 柱前 AS-左 L	1
取扱説明書	1			ELD 柱後 L	2
保証書 5年	1			ELD 戸当り (M) L	1
補修スプレー (小)	1			ELD 間柱前 L	1
EL 鋸コキ	1			ELD 間柱後 L	2
				●パンチングパネル	
				LM 5-5012	
				部材名	数量
				ELD パンチングパネル A	2
				●窓下パネル	
				LM 5-5021	
				部材名	数量
				ELD 窓下パネル L-A	2
				●間柱	
				LM 5-1457	
				部材名	数量
				ELD 間柱 側前 3.0L	2
				ELD 間柱 側後 3.0L	2
				●扉	
				LM 5-1705	
				部材名	数量
				ELD 扉前 L-A	1
				ELD 扉後 L-A	1
				ELD 扉支持材 AS-A	1
				ボルト M6 × 15 (白)	3
				ELD 取手	1
				ELD 運動車	1
				ELD 戸車上昇防止プレート AS	3

○部材名称にはA3.0等の長さを示す記号がついた部材がありますが、説明書文中では省略してあります。
■は、扉の裏面に貼り付けてあります。

●施工にあたって

- 1.まず御注文通りの商品かどうかを確認してください。
- 2.本体を組立てる前に必ず土間工事をしておいてください。
- 3.部材の共通化のために、実際には使用しない孔の空いている部材がありますので、説明書に従って組立ててください。
- 4.部材は、全て鋼製ですので手を切らないようくれぐれもご注意ください。
※安全のため必ず手袋を着用してください。
- 5.部材名称の右・左は、正面に向かって右側に取付く部材を右、左側に取付く部材を左とします。
- 6.部材の組立ては、ボルトの孔に合わせて組立ててください。ボルト孔が合わなくなった場合は、ボルトをゆるめ、ボルトの孔位置を合わせてください。

●組立てに必要なもの(事前にご準備ください。)

- ・軍手 ・水準器 ・脚立 ・ドライバー(右側開口にする場合のみ必要)
- ・サンダー等切断工具 ・振動ドリル(ドリル径18φ)

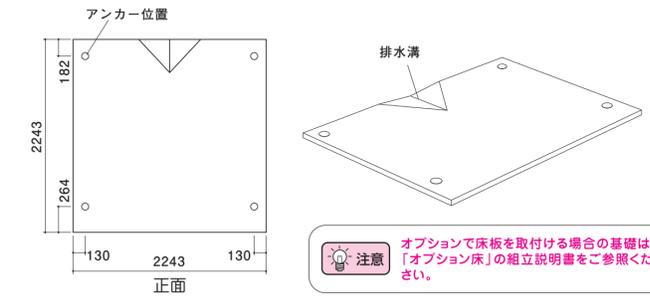
●使用ビス一覧



土間基礎寸法(参考)

排水溝あと施工アンカー位置

- 土間基礎は図示の寸法以上としてください。(数字はmm)
- 排水溝、水勾配は、現地の状況に応じ施工してください。
- 下枠と土間にすき間がある場合は、コーキング(別途) もしくは、モルタルを充て込んでください。



注意

基礎の水平が出ていないと以下のようにならない。
・壁パネルが入らない
・扉がスムーズに動かない
・壁が揺らがない

オプションで床板を取付ける場合は基礎は「オプション床」の組立説明書をご参照ください。

△注意 強風地、寒冷地等に設置する場合、現地の実情(基準風速・凍上による不陸など)にあわせて設計・施工してください。

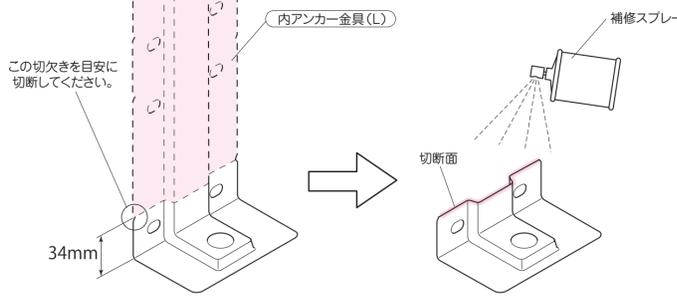
1 前工程(その1) ※床なしの土間仕上げのみ

使用梱包	LM5-5143
使用ボルト数	0本

- ①(内アンカー金具(L))を4本とも図の位置で切断します。
- ②切断した面を補修スプレーで塗装します。

注意

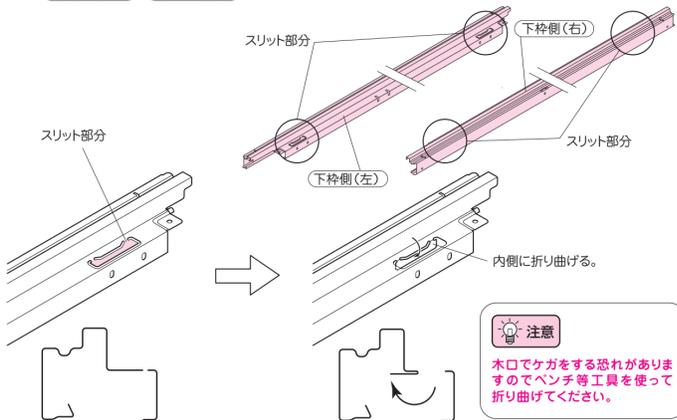
床(オプション)を取付ける場合は切断せずにそのまま下枠側に取付けてコンクリートで埋めてください。
-工程4



2 前工程(その2)

使用梱包	LM5-0355
使用ボルト数	0本

- ①(下枠側(左))・(下枠側(右))の両端のスリット部分を内側に折り曲げます。



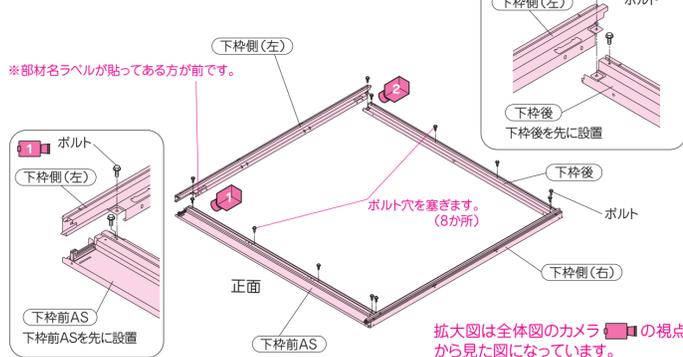
注意

木口でケガをする恐れがありますのでペンチ等工具を使って折り曲げてください。

3 下枠の組立

使用梱包	LM5-5254
使用ボルト数	12本

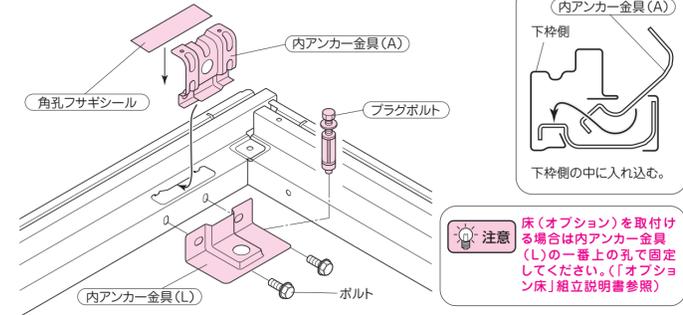
- ①(下枠前AS)・(下枠後)を土間の上に設置します。
- ②(下枠側)を(下枠前AS)・(下枠後)の上から設置して4隅をボルト止めします。①②
- ③下枠前AS・下枠後のボルト孔を塞ぎます。(8か所)



4 内アンカー金具の取付け

使用梱包	LM5-5143
使用ボルト数	ボルト8本 プラグボルト4本

- ①(内アンカー金具(A))を下枠側の前工程で加工した穴から差し込んで下枠側の中に入れ込みます。(4か所)
- ②前工程で加工した(内アンカー金具(L))をボルト止めします。
- ③内アンカー金具(A)を差し込んだ穴を付属の(角孔フサギシール)を貼り付けて塞ぎます。
- ④コンクリートドリルで18φの穴(深さ55mm)を開け(プラグボルト)を挿入し内アンカー金具(L)を固定します。(4か所)



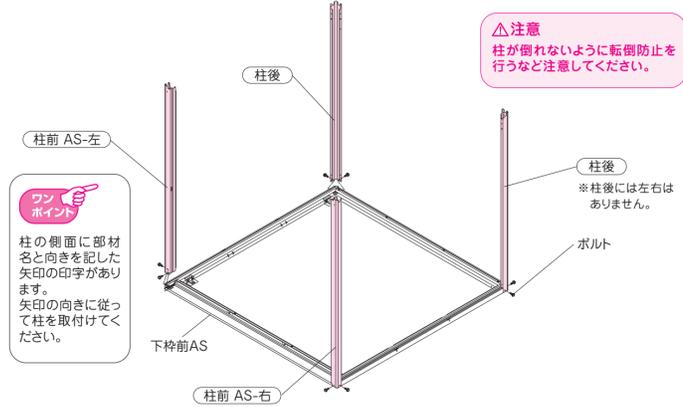
注意

床(オプション)を取付ける場合は内アンカー金具(L)の一番上の孔で固定してください。「(オプション床)組立説明書参照」

5 柱の取付け

使用梱包	LM5-0416
使用ボルト数	8本

- ①(柱前AS)・(柱後)を下枠の4隅の切欠き孔に差し込んでボルト止めします。



ワンポイント

柱の側面に部材名と向きを記した矢印の印字があります。矢印の向きに従って柱を取付けてください。

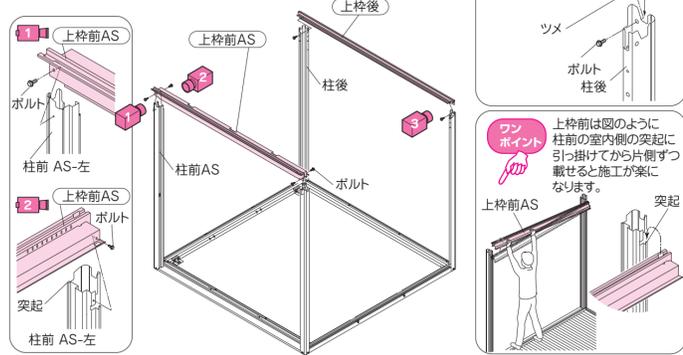
注意

柱が倒れないように転倒防止を行うなど注意してください。

6 上枠前後の取付け

使用梱包	一般型・積雪型	LM5-0205
使用ボルト数	豪雪型	LM5-0209
		6本

- ①(上枠前AS)を柱前ASの突起に差し込んでボルト止めします。
- ②(上枠後)のツメを柱後の切欠き部に引っ掛けてボルト止めします。①②③



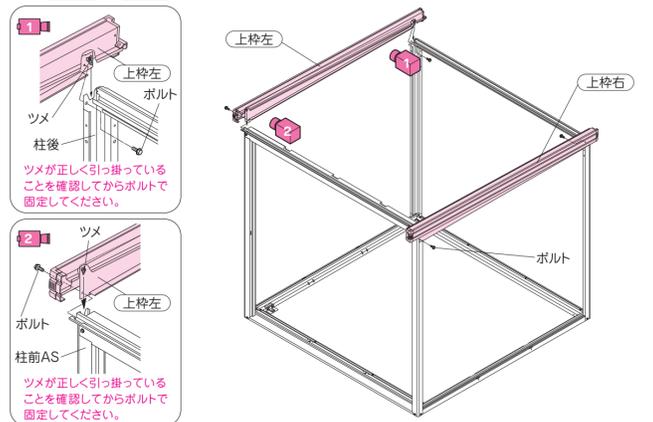
ワンポイント

上枠前は図のように柱前の室内側の突起に引っ掛けてから片側ずつ載せると施工が楽になります。

7 上枠左右の取付け

使用梱包	LM5-0305
使用ボルト数	4本

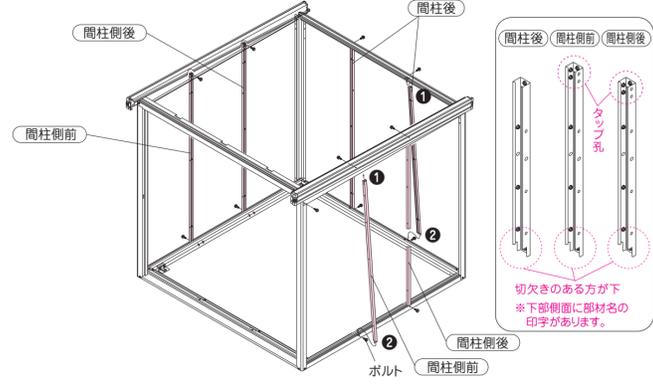
- ①(上枠左)・(上枠右)を柱に取付けます。①②



8 間柱側・後の取付け

使用梱包	LM5-0416
使用ボルト数	LM5-1457 12本

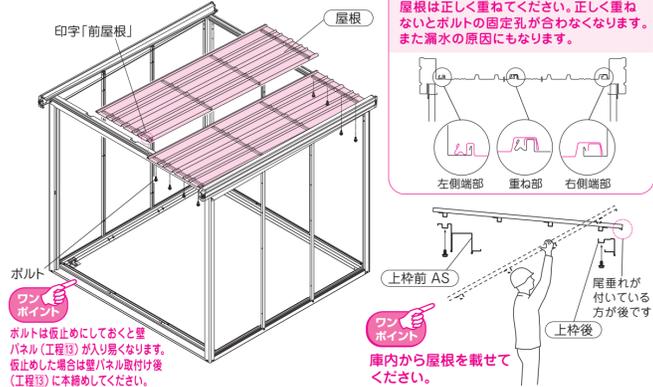
- ①(間柱後)の上端を上枠後に差し込み次に下端を下枠に差し込んでボルト止めします。
- ②(間柱側)も同様にして取付けます。



9 屋根の取付け

使用梱包	LM5-0943
使用ボルト数	24本

- ①(屋根)を右端から順番に載せて上枠前・上枠後とボルト止めします。
※裏面に「⇒屋根」の印字がある方を前にします。



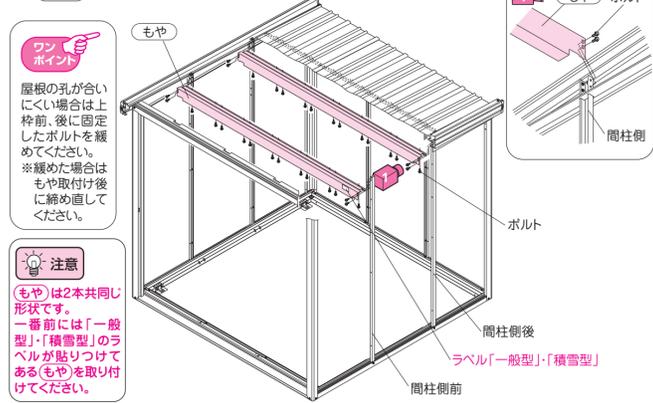
ワンポイント

ボルトは仮止めにしておくと壁パネル(工程13)が見えなくなります。仮止めた場合は壁パネル取付け後(工程13)に本締めしてください。

10-A もやの取付け ●一般型・積雪型の場合

使用梱包	一般型	LM5-0537
	積雪型	LM5-3536
使用ボルト数		32本

- ①(もや)を正面から間柱側に載せてボルト止めします。①②
- ②(もや)と屋根をボルト止めします。



ワンポイント

屋根の孔が合いにくい場合は上枠前、後に固定したボルトを緩めてください。
※緩めた場合はもや取付け後に締め直してください。

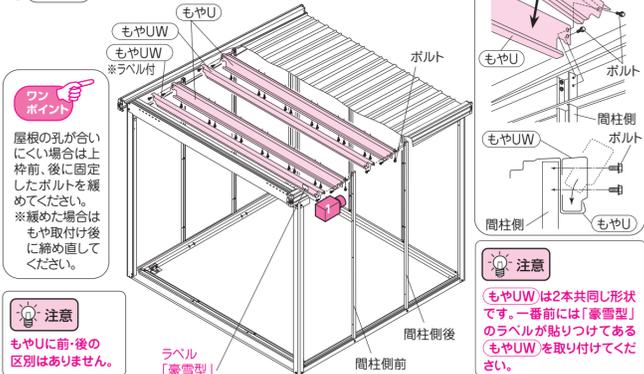
注意

(もや)は2本共同形状です。一番前には「一般型」「積雪型」のラベルが貼りつけてある(もや)を取り付けてください。

10-B もやの取付け ●豪雪型の場合

使用梱包	LM5-4533
使用ボルト数	32本

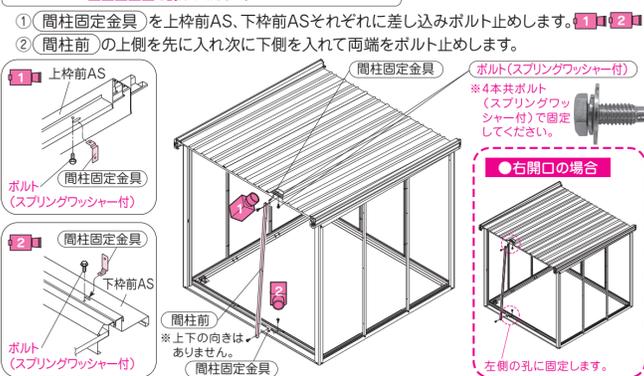
- もやUを正面から間柱側に載せて下側の穴をボルト止めします。
- 正面からもやUWを(もやU)に落としこみボルト止めします。
- もやUと屋根をボルト止めします。



11 間柱前の取付け

使用梱包	LM5-5143
使用ボルト数	LM5-0416
	ボルト(スプリングワッシャー付) 4本

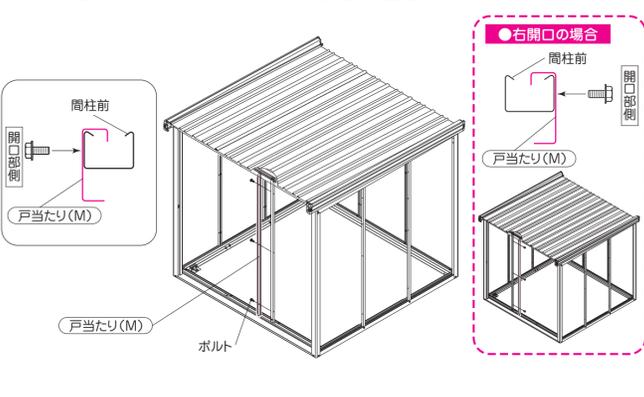
- 注意** 工場出荷時の扉の開口は、左側開口となっていますが、右側開口にも変更できます。それぞれの開口により、部品の取付け位置が異なりますので開口に応じて組立説明書11・12・15・17・18を請んでください。



12 戸当たりの取付け

使用梱包	LM5-0416
使用ボルト数	3本

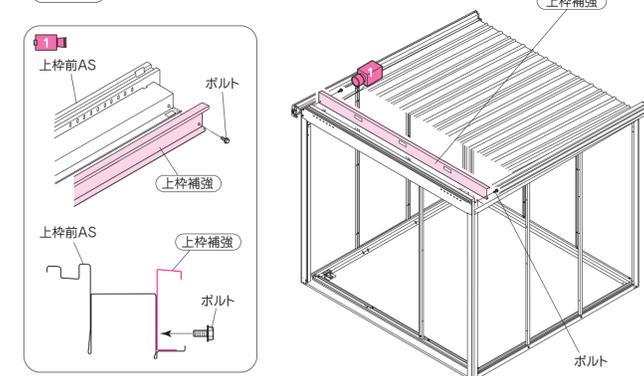
- 戸当たり(M)を間柱前に仮止めします。
※扉吊り込み後に扉に干渉しないよう前後調整して固定してください。-工程18参照



13 上枠補強の取付け (豪雪型のみ)

使用梱包	LM5-5143
	LM5-0209
使用ボルト数	2本

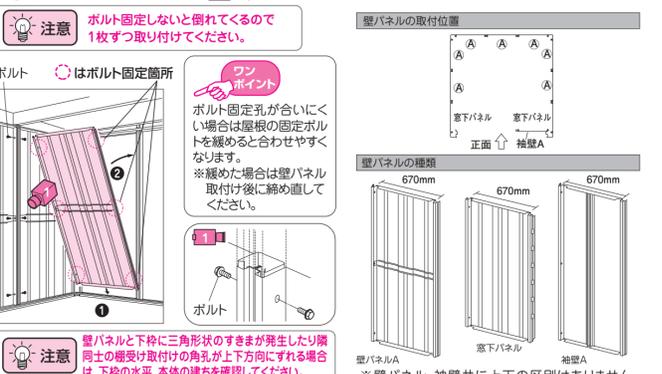
- 上枠前と柱を固定しているボルトを外します。
- 上枠補強を上枠前ASにボルトで固定します。



14 壁パネル・袖壁の取付け

使用梱包	LM5-5021
	LM5-1003
	LM5-1004
	LM5-1055
使用ボルト数	55本

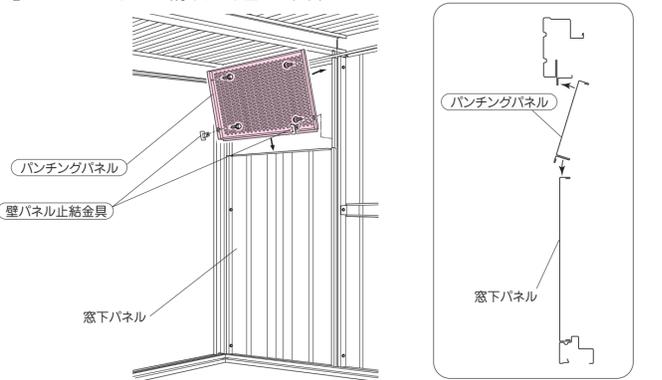
- 室内から(壁パネル)・(袖壁パネル)をはめ込みます。(下を先に入れて上をはめ込みます。)*側面前側には(窓下パネル)をはめ込みます。
- 柱・間柱にボルト止めします。●(開口部側面の壁は柱補強金具と一緒に固定します。-工程15参照)



15 パンチングパネルの取付け

使用梱包	LM5-5012
使用ボルト数	8本

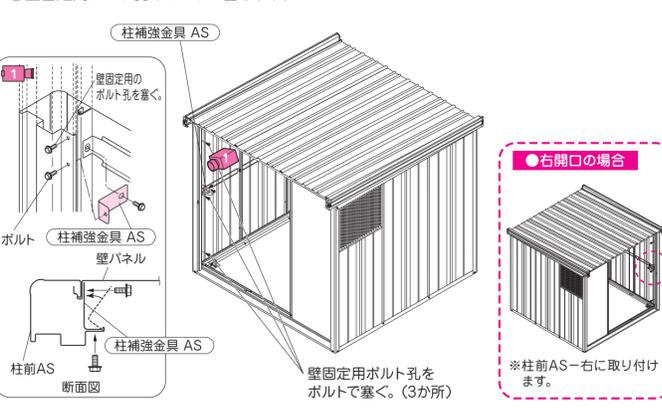
- (パンチングパネル)を窓下パネルの上に室内からはめ込みます。
- (壁パネル止結金具)をパンチングパネルの下の角孔に差し込みます。
- パンチングパネルの4隅をボルト止めします。



16 柱補強金具の取付け

使用梱包	LM5-5143
使用ボルト数	5本

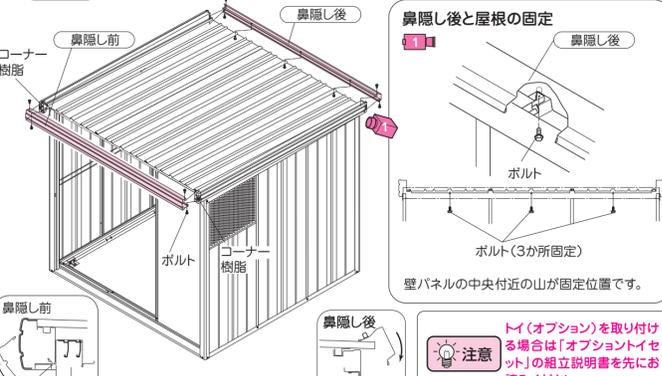
- 柱補強金具ASを柱前AS-左(右側開口の場合は柱前AS-右)にボルト止めします。
- 壁固定用ボルト孔はボルトで塞ぎます。



17 鼻隠しの取付け

使用梱包	LM5-1105
使用ボルト数	11本

- 鼻隠し前・(鼻隠し後)を上枠左右のコーナー樹脂にかぶせるようにして取付けてボルト止めします。
- 鼻隠し後と屋根をボルト止めします。

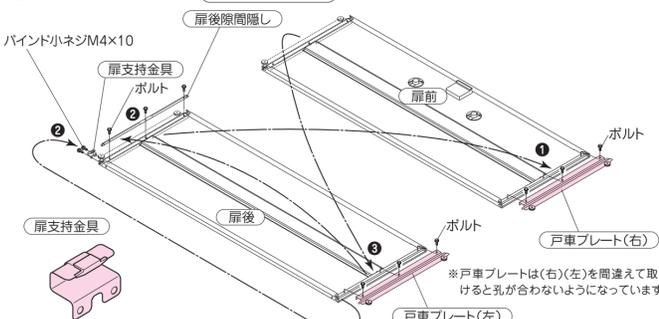


18 扉吊元変更 (右開口に変更する場合のみ)

使用梱包	LM5-1705
使用ボルト数	0本

- 注意** 右開口にする場合のみ吊元変更を行ってください。左開口の場合はこの工程は必要ありません。

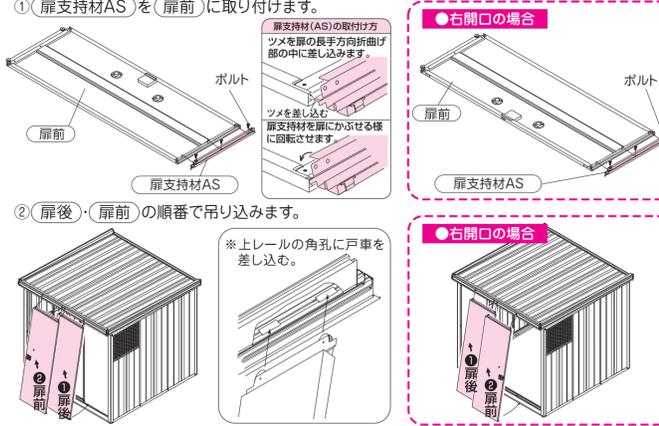
- 扉後から(戸車プレート(右))を取り外し扉前の戸車プレートが付いていない方に取付けます。
- 扉後の(扉後隙間隠し)扉支持金具を取り外して扉後の反対側に取付けます。
- 扉前の最初に付いていた(戸車プレート(左))を取り外して扉後に取付けます。



19 扉の吊り込み(1)

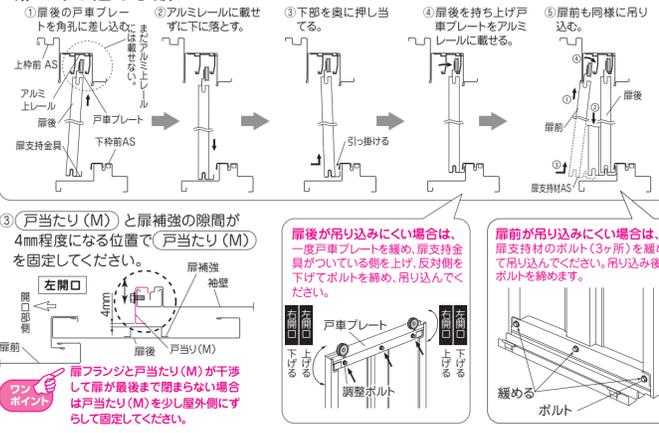
使用梱包	LM5-1705
使用ボルト数	3本

- 扉支持材ASを(扉前)に取り付けます。



19 扉の吊り込み(2)

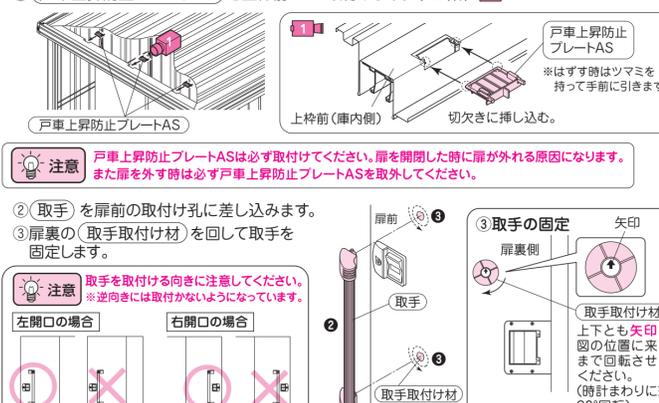
扉の吊り込み手順



20 戸車上昇防止プレート・取手の取付け

使用梱包	LM5-1705
使用ボルト数	0本

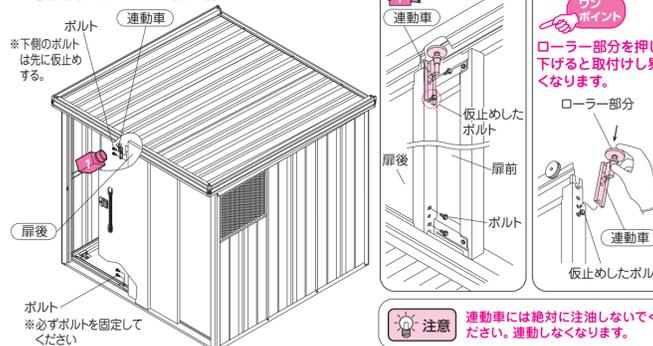
- 戸車上昇防止プレートASを上枠前ASに取付けます。(3か所)



21 連動車の取付け

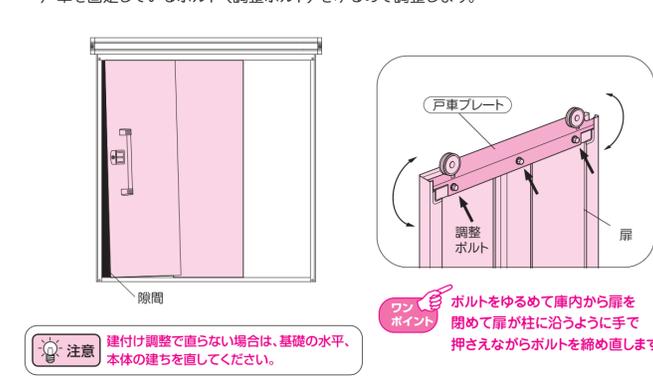
使用梱包	LM5-1705
使用ボルト数	4本

- 扉後の連動車取付け部下側の固定孔にボルトを仮止めします。(ネジ部を5mm程度残してください)
- (連動車)のローラー部分を押し下げながら下部切欠きを仮止めたボルトに引っ掛けます。
- (連動車)をボルトで固定します。(仮止めたボルトも締め込んでください。)
- 扉後下部のボルト孔を塞ぎます。



22 扉の建付け調整

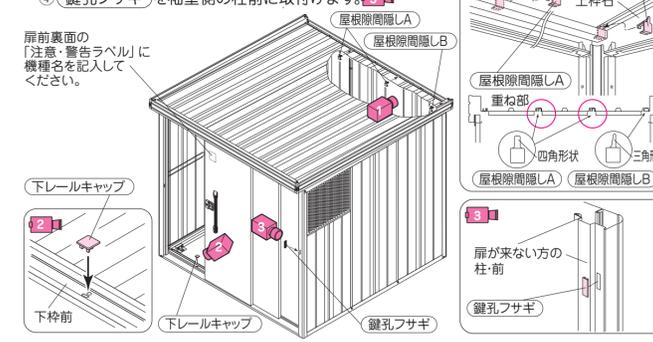
- 扉を開けて柱と扉との隙間を確認します。
隙間がある場合や隙間が無くても鍵が掛かりにくい場合は、戸車を固定しているボルト(調整ボルト)をゆるめて調整します。



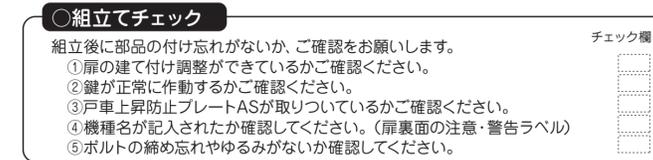
23 その他部品の取付け

使用梱包	LM5-5143
使用ボルト数	0本

- 扉裏面の注意・警告ラベルに機種名を記入します。
- (屋根隙間隠しA)を上枠後の屋根の重ね部に、(屋根隙間隠しB)を上枠後の屋根と上枠右の重ね部に取付けます。
- 下レールキャップを下枠前に取付けます。
- 鍵孔フサギを袖壁側の柱前に取付けます。



●錠操作方法について 取扱い説明書「錠操作方法について」を必ずご参照ください。



組立てチェック	
組立後に部品の付け忘れがないか、ご確認をお願いします。	チェック欄
①扉の建て付け調整ができているかご確認ください。	
②鍵が正常に作動するかご確認ください。	
③戸車上昇防止プレートASが取り付けられているかご確認ください。	
④機種名が記入されたか確認してください。(扉裏面の注意・警告ラベル)	
⑤ボルトの締め忘れやゆるみがないか確認してください。	
こんな時は	
・扉が外れてしまった。	戸車上昇防止プレートAS、連動車を外して扉を吊り込みなおしてください。(工程18・19・21)
・扉がスムーズに連動しない。	1.本体の建ちを確認してください。 2.連動車のローラー部に油が付着していないか確認してください。 3.連動車が真っ直ぐ取り付けられているか確認してください。
・取手が外れる。	取手取付け材の取付け角度を確認してください。(工程20)
・扉が最後まで閉まらない。	戸当たり(M)を調整してください。(工程18)